

令和7年度「小代っ子」

◆ふるさとに学び 誇りと夢をもち
心あたたかく たくましい 小代っ子の育成◆

香美町立小代小学校
R8.2.9 No.11

スキー教室 順調に実施できています！

今年度もスキー教室は順調です。第1回目は1月20日（火）に、第2回目は2月3日（火）に無事終わることができました。第3回目は、明日2月10日（火）に行う予定です。1回目は、1年生は親子スキーとして実施しました。どの子も保護者の方に丁寧に教えていただき、1年生の子どもたちも満足そうでした。高学年の子どもたちはとても上手に頂上から滑り下りてきていました。子どもたちの滑っている様子を見て、やはり小代の子だなと思いました。低学年の中にも頂上から滑ってくる子もいます。みんなスキーを楽しんでいると言ってくれます。おじろスキー場は、小代の宝です。小代の自然を十分に満喫してほしいと思います。

コーチの皆様並びにスキークラブの皆様、親子スキーに参加して下さった保護者の皆様、子どもたちのためにありがとうございました。

【親子スキー】

【スキー教室】

【防災体験給食】

今年は阪神・淡路大震災31年目でした。本校でも、追悼集会を持ちました。1月23日（金）には防災体験給食として、5・6年生が先生（村岡学校給食センター 栄養教諭）に指導していただき炊き出しみそ汁を全校生分作りました。

この日の給食は、1年生から6年生までを一緒にした縦割り班で食べました。作った炊き出しみそ汁は順番に並んで5・6年生に入れてもらいました。

おにぎりについての説明を先生から聞きました。「1月17日は『おむすびの日』といいます。神戸の人たちがそう名付けたそうです。」と話されました。調べてみると、寒く厳しい震災の中で、ボランティアによるおむすびの炊き出しが、被災者にとって大きな支えとなった。そのことへの感謝の気持ちが表されているようです。

縦割り班での給食は、高学年が低学年におむすびのにぎり方を優しく教えてくれました。おかげで低学年もおむすびを美味しくいただくことができました。5・6年が作ってくれた炊き出しみそ汁もあまりに美味しくて全部なくなりました。

5・6年生の皆さん、ありがとう！

【雪像づくり】

今年は週末毎に寒波が来ています。運動場にもたくさん雪が積もっています。子どもたちは元気です。休み時間になると外に出て、雪の中をかけ回っています。

1月27日（火）に縦割り班で雪像づくりを行いました。何を作るのかを前日に相談し、班のみんなで力を合わせ大きな雪玉を押していました。イチゴやポンデリングなど思い思いの雪像が出来上がりました。

とても楽しいひと時でした。

【地域の皆様、ありがとうございます！】

子どもたちの登下校にとって、雪道はいつもと違う行動をとらざるを得ないときがあります。なるべく通常通りの登下校ができるようにと私も雪道を開けるようにしていますが、それでも行き届いていないときがあります。

最近、雪道を開けようと回っていると、それぞれのバス停や歩道の入り口などたくさん開けていただいています。信号を渡った歩道の雪を、バスを乗り降りする子どもたちのために重機で開けてくださっている方もあります。本当にありがたいと思います。

学校は、地域の皆様に支えられていることを実感します。地域の皆様に見守られ、子どもたちは温かい心が育ってきています。いつもありがとうございます。

【コラム】

2月の全校集会で「できなくても大丈夫！」「失敗しても大丈夫！」という話をしました。子どもたちは本当に頑張り屋さんが多いです。それだけに、上手くいかなかったときに、対応できないことがあります。

大人だって、できないことや失敗することはあるんだよ。だから、自分を責めなくていいんだよ。そして、上手くいかなかったときは、先生やお家の人に伝えてねと話しました。

「魔法はかけても、プレッシャーはかけない！」という言葉覚えておいてほしいと思います。

【お知らせ】 本便りをHPにもあげていますので、ぜひご覧ください。

※ 学校へのご意見・ご要望があれば、お知らせください。 ☎ 97-2004

